

# 入中1年人権だより

徳島市 八万中学校  
1年生 第6号  
2020年8月4日  
編集・文責 吉成正士

## 入中1年人権作文発表会を終えて第3弾

人権作文発表会の感想第3弾です。期末テストも終わったので、ゆっくり読んでみてください。

Eさんの作文を聞き、私も新しいクラスになると友達をたくさんつくりたくて、いつもの自分とは真逆の人を演じてしまうけれど、演じてつくった友達よりもありのままの自分でつくった友達の方が仲良くなれるし、ありのままの自分を受け入れてくれるので話しやすかったり、相談できるので、これからはありのままの自分で過ごしていければいいと思いました。

Hさんの作文を聞き、いじめをする方は周りの人が止めないからする側も「してもいい」と思い込んでしまっていていじめがエスカレートするので、私もいじめを見つけたら止めにいこうと思いました。実体験を聞きいじめについて詳しく知ることができました。(一部掲載)

ED

確かに、自分を演じるのは、新しく友達をつくらうとするときかもしれません。でも、演じてつくった友達の前では、ずっと演じ続けなければなりませんから、疲れます。それに偽った自分でつきあっていけば、いつかボロが出ないかと、友達関係にずっと不安を抱えたままになります。でもありのままの飾らない自分なら、話しやすいでしょうし、接しやすいでしょうね。もちろん、相手へのリスペクトは必要です！

それと、いじめかどうかよく分からないときってありますよね。自分の我がが出すぎてしまったときや、わがままになってしまったときなんか、そうかもしれません。そんなとき、一緒になって悪乗りする友達ではなくて、すぐにその場で注意や修正をしてくれる友達がいれば、エスカレートすることはありませんよね。自分もそんな友達になっていくことです。それと、友達が悩んだときに、相談してもらえらる自分になること！ 信頼される自分になっておくこと！ つまり、いじめの予防策を日頃から積み重ねておくこと！ どうですか？ 今日はそんな自分でしたか？

人権作文発表会を終えて、人にはいろいろな考え方があるんだなと思いました。私には難しいと思うことでも、勇気を出してやっている人もいて、すごいなと思いました。いじめ、コロナ、人種差別、人間関係、性差別、違うことを書いているけれど、全部結局は人と生活していく中でのルールだと思います。こうなったらいいな、で止まらずに、行動に移していくのが大切だと分かりました。すぐにできるようなことではないけれど、少し考えるだけでもあたたかい気持ちになれていいと思います。

発表する人ははきはきと読めていて良かったし、聞く人もちゃんと聞けていて、たくさん発表できていたので良かったと思いました。私は発表できなかったので、次からは頑張ろうと思います。

人権作文の発表を聞いて、自分の良くしていきたい

ところや、みんなの考え方が分かって、とても良かったです。たまには人権を考えるのもいいなと思いました。(一部掲載)

IH

6人の人権作文のテーマは、本当に様々でした。いろんな視点で人権を見られていることがうかがえて、すごいななと思いました。それにしても、ルールとは、難しいですね。みんなに共通したルールもあるにはありますが、人それぞれにも微妙に異なるルールがあって、そのどこまでが許せて、どこからは許せないのか。自分のルールを分かってほしければ、他人のルールも認めなければならない。じゃあ自分と違う他人のルールって何？ 他人と違う自分のルールって何？ 話し合えないと分かりませんよね。でも話し合う中で、新たな発見もあって、「えー！」と言うことはあっても、変に見るのではなくて、ちょっと興味を示してみる。そんな姿勢が、あたたかい気持ちにさせてくれるのかもしれません。

今回、発表者のみなさんは気持ちよく発表できたのではないかと思います。というのは、聴いているみなさんが、一生懸命に聴いていたからです。話していても聴いてくれる感じがしないと、どこか独りぼっちになったようで寂しい気持ちになります。でも一生懸命に聴いてくれるのが分かれば、どこか認められているような気持ちになります。話してくれる人にまなざしを送ること、これ、すごく大事です。

それと、「たまに」じゃなく、「いつも」人権について考えていきませんか？

僕は人権についてきちんと向き合ったことがなかったので、人権に向き合えて良かったです。代表の6名の方の人権作文を聞いて、「自分もこうしなければ」という気持ちを持ったのが一番嬉しかったです。一つ自分が成長できたなと思いました。Hさんのいじめの実体験を話してくれたおかげで、いじめとはどんなものなんだ、どうしたらいじめがなくなるのだろうと考えることができたし、Sさんのコロナウィルスの話では、自分はどう対策したらいいのか、どうしたら周りの人に迷惑かけずにすむだろうかと考えることができた。

他にもたくさん考えさせられました。一番僕が心に残ったのは、Yさんの「友達のおかげ」です。自分もYさんと同じような経験をしているので、ものすごく共感できたし深く分かりました。自分と同じような悩みを抱えていた人がいるんだなあ～と思いました。本当にこの機会を設けていただいた先生方、作文を書いてくれたみんなにとっても感謝しています。また、人権作文発表会を行って、みんなの意見をいっぱい聞きたいです。

SZ

誰かの頑張りに刺激を受けて、自分も頑張れる。そんな関係っていいですよ。まさに、「良きライバル」という感じがします。人と比べるなら、そんな向上心につながるような比べ方をしたいものです。

でも、人と比べることで、自分が惨めに思えたり、

自分より下の存在を探してしまったりすることが人にはあります。そんな気持ちになるくらいなら、人と比べない生き方をするのもいいかもしれません。

「人は人、自分は自分」

そんなふうに思い切れる生き方ができる人はいいのですが、どうしても人と比べてしまう弱さをもっているのも人間です。でも、人権学習をすることで、そんな自分と向き合い、見つけ、弱い自分に闘いを挑んでいく自分に変わっていくこともできます。だから、人権学習は必要なんです。みんなで共に成長していきましょう。

それと、「自分だけじゃない」と思えるのも、語ってくれる人がいるからです。聞いたり返す。みんなの意見をいっぱい聞いて、人の気持ちに伝えられる人になっていきませんか。

次に一人の何気ない行動や発言が、ある人にとっては大きな力や悲しみ、苦しみになったり、嬉しくなったりするということが分かりました。なので私も、人が嬉しいと思えたり、頑張ろうと思えるような発言ができるようになりたいと思いました。

これからもたくさん失敗や経験があると思うけど、「解決して良かった」や「もう仕方ないか」と思うだけでなく、その失敗や経験から学べることはたくさんあると思います。そういうことを重ねつつ、正しい行動や発言ができるようになりたいです。この学習をして、今やっている勉強や気づきなどは、すべてこのことに意味があると思えました。私も汚い言葉を使ってしまうことがよくあるので、気をつけようと思えました。(一部掲載)

何気ない一言は、悪い場合にも良い場合にもあるものです。何気なく言った一言が相手を傷つける。口を突いて出た一言がいつの間にか相手を傷つけることがあります。悪気はなかったとしても、相手への理解と共感は忘れたくないものです。

一方で、何気なく言った一言で救われることもあります。言った方が覚えてなくても、聞いた方は一生覚えていたりする。それが人の命を救うことになることもあります。思いは言葉になり、相手へと伝わります。人を思う気持ち、大切にしたいものです。

また、いじめや嫌な思いをした人のなかに、その出来事を忘れてたり、覚えているのに向き合えない人もいます。それだけ苦しい経験なのかもしれませんが、次に訪れる試練のためにも、忘れず向き合い、これからの生きていく教訓にしてほしいと思えます。

人権学習や教科の学習には意味があり、すべて私たちの成長につながっているのだと思います。正しく知り、正しく行動する、そんな大人に成長していきましょう。

Tさんの発表で、男らしさ、女らしさとはどういうものなのか、すごく考えさせられました。自分が行き着いた答えは、男らしさ、女らしさは、それぞれあってなくてもいい、ただのおマケなんじゃないかというものです。世界中の誰一人として、まったく同じ人はいません。だからこそ世界はいろいろ考え、発見していくんだと思います。同性は結婚できない。おかしい。そんな考えは古い考えだと思えます。今は今らしい考えに変えていかなければいけないと思えました。

Yさんの発表で、友達って素晴らしいんだなと思いま

した。私も小学生の頃、学校の前にいざ行くと、行きたくなる頃がありました。自分以外にもこんな人がたくさんいるんだと思えば、それがまるで普通のことに感じます。これからも、もしかしたら学校に前のように行きたくなる時がくるかもしれません。でもそんなことも乗り越えて強くなっていけるような自分になりたい、なれたらいいなと思うことができました。

全員素晴らしい発表でした。

MO

性的少数者の問題が、ようやく日本でも大きくクローズアップされはじめました。でも、実際はまだまだ理解されていないし、権利も保障されていません。今の流れは「今らしい」のかもしれませんが、古い考えには古い考えなりの理由があるはずで、そんな人を撥ね除けてしまうのではなく、対話しながら、今らしく、本来の「人間らしさ」を獲得していきたいものです。そのためにも、みなさんの学びが必要です。

誰かの勇気ある語りが、誰かを救っていく。誰かの傷を癒やしていく。心を癒やしていく。それがまた次の語りを生んでいき、人は人とつながっていくのだと思います。そうやって仲間を増やし、居場所をつくっていきます。そんな居場所を、いま、ここに、ともにつくっていきましょう。

\* \* \*

意見発表に合わせて行った意見交換は、途切れることなく、絶え間なく続いていました。入学したすぐの段階で、このようにみんなで語り合い、それが継続し、力となっていけば、もっと素敵で学年になっていきます。

人権学習のとき、自分の言葉で自分のことをしゃべれるようになると、人は大きく成長します。人に優しくなることはもちろん、広い視野で物事が見られるようになります。勉強もできるようになります。部活動でも結果を残すようになります。自分の言葉で自分のことをしゃべる。たったそれだけのことなのに、不思議とすべてに渡って人は大きく成長しはじめるのです。そうなりたいと願う人は、ぜひ発言してみてください。

プチ夏休みや中学生になって初めての期末テストもあり、時間も経って、もう人権作文発表会の記憶なんか薄れてしまってるかもしれませんね。

人は忘れる生き物です。忘れるから、新しいことが頭に入ってくる。だから忘れることは決して恥ずかしいことじゃない。でも、忘れていいことと、忘れてはいけないことがあるものです。では、どうすれば忘れないでいられるのか。

熱は冷めるものです。なぜ冷めるのか。それは、自分の中に湧きあがるような熱を見つけられていないから。もし自分の中にふつふつと湧きあがる熱があれば、冷めることはありません。その熱をまだ自分の中で感じられてないから、時間とともに冷めてしまうのです。まだまだヒトゴトだったということです。冷めない熱となるように、そんな熱が自分の中で見つかるまで、冷めた熱を思い出すような人権学習を、またみんなでしていきましょう。

これからも、人権についてみなさんが日頃から思うことを教えてください。この紙面を通じて、みんなで考え合っていきたいと思えます。

